

科目名	作業学概論	担当教員	佐々木努 三宅環 ※印は実務経験のある教員を示す。
-----	-------	------	---------------------------------

開講専攻	分野	種別	配当年次	開講時期	単位数	授業形態
作業療法学専攻	専門科目	選択	2年次	後期	2単位	講義

科目概要	<p>作業は広がりと深さをもっている。日常生活の中の作業に関し、どの範囲までを一つのまとまりとするのかは個人や状況により違う。一つにまとまっているように見える作業を詳しく見ていくと、何層にも積み重なっていることが理解できる。作業には人の機能を発達させ、健康を回復させる力がある。人が何かをすること（作業）により人は成長し、人類は進化し、よりよい社会生活を建設していくことができる。本講義では、「特定の人の生活にある作業」という視点から作業の理解を深めていく。</p>
学習目標	<p>① 作業療法の歴史の変遷を理解する。 ② 作業療法の理論について理解する。 ③ 作業療法に関わる制度、診療・介護報酬を理解する。 ④ 作業療法の社会的役割を理解する。</p>

回	項目	主な学習内容	到達目標	実務経験 教員担当 項目
1	講義1	日本の作業療法の歴史	日本の作業療法の歴史を理解できる。	
2	講義2	世界の作業療法の歴史	世界の作業療法の歴史を理解できる。	
3	講義3	作業療法理論1：作業行動理論	作業行動理論の概略を理解できる。	
4	講義4	作業療法理論2：人間作業モデル	人間作業モデルの概略を理解できる。	
5	講義5	作業療法理論3：カナダ作業遂行モデル	カナダ作業遂行モデルの概略を理解できる。	
6	講義6	作業療法理論4：作業科学	作業科学の概略を理解できる。	
7	講義7	作業療法理論5：感覚統合理論	感覚統合理論の概略を理解できる。	
8	講義8	生活行為向上マネジメント	生活行為向上マネジメントの概略を理解できる。	
9	講義9	作業療法に関わる制度1：医療保険制度	医療保険制度の概略を理解できる。	
10	講義10	作業療法に関わる制度2：介護保険制度	介護保険制度の概略を理解できる。	
11	講義11	作業療法に関わる制度3：社会福祉制度	社会福祉制度の概略を理解できる。	
12	講義12	作業療法に関わる制度4：PT・OT法	PT・OT法の概略を理解できる。	
13	講義13	作業療法士教育（学校教育、臨床教育）	作業療法士の教育制度を理解できる。	
14	講義14	作業療法実践（EBM，リーズニング）	作業療法実践の流れ、役割を理解できる。	

15	講義 15	(一社) 日本作業療法士協会	職能団体の役割を理解できる。	
	評価方法	筆記試験		
	教科図書	杉原素子・編『作業療法学全書第1巻改訂第3版作業療法概論』協同医書出版社、2012年		
	参考図書	鎌倉矩子『作業療法の世界第2版』三輪書店、2007年 山根寛『ひとと作業・作業活動第2版』三輪書店、2007年 吉川ひろみ『「作業」って何だろう作業科学入門』医歯薬出版株式会社、2015年 (一社) 日本作業療法士協会『事例で学ぶ生活行為向上マネジメント』医歯薬出版株式会社、2015年		
	学習の準備	作業療法概論で学習した内容を復習すること。		
	オフィスアワー	随時		
	担当教員欄に※印を附した教員の 実務経 験			